

六 月

茨木 のり子 作詩
神野 和 博 作曲

1 F Am F Dm C7 F Bb Gm
どこかにーうつくしいーむらはないーか いちにーちのしご とのおわりにはー

7 C7 F Gm7 F C7 Gm C7
いっばいーのくろビールー くわをたてーかけーかごを おき

13 F Dm Gm C7 F
おとこもーおんなもー おおきなージョッキを かたむけるー

19 F Am F Dm C7 F Bb Gm
どこかにーうつくしいーまちはないーか たべらーれるみ をーつけたー

25 C7 F C7 Gm C7
がいろじゅがー どこまでもーつーぶーきーすみ れいろしたーゆうぐれは

31 F Dm Gm C7 F
わかものーやさしいー さざーめきーで みちみちるー

37 F Am F C7 F Dm Gm
どこかにーうつくしいーひととーひとのちーからはないかーおなじじだいを

43 C7 F C7 Gm C7
ともに生きるー したしさとーおーかしさとーそうしてーいかりが

49 F Dm Gm C7 F
するどいーちからとー なっーて たちあらわーれる

どこかに美しい村はないか
一日の仕事の終わりには一杯の黒麦酒
鍬を立てかけ 籠を置き
男も女も大きなジョッキをかたむける

どこかに美しい街はないか
食べられる実をつけた街路樹が
どこまでも続き すみれいろした夕暮は
若者のやさしいさざめきで満ち満ちる

どこかに美しい人と人の力はないか
同じ時代をともに生きる
したしさとおかしさとそうして怒りが
鋭い力となって たちあらわれる